

物部体験記

～工科大生議員インターンシップ～

発行

～議員インターンシップ～
幾井、山口、内田、山崎

【地区について】

周りは山に囲まれており、水源地もあるため、水が豊かだと感じました。食事は田舎寿司、ところてんなど、とれたての新鮮なものをいただきました。インターネットの限界があると、現地調査させて頂いたときに移住者の方がおっしゃっていましたが、実際、携帯電話の電波が入らない場所もありました。また畑の貸し借りは無料で、大西地区の家賃の平均は五千元～一万円だということがわかりました。(内田)



【祭りについて】



久保地域には旧暦の1月と6月に観音様を祀るお祭りがあり、今回その祭りに参加してきました。このお祭りは、開始時間が決まっておらず、日が暮れるとともに集まり終わりも流動的に自然解散という形の不思議なお祭りです。またこのお祭りは、同じテンポであればひたすら踊り続けることができる踊りを踊り続けるものでとてもユニークだと感じるものでした。

さらに驚きだったのは、50代以上の方が多地域であるにもかかわらず小学生、中学生、また30台前後の女性の方などが参加していたことです。そんな世代を問わず楽しむことができるお祭りがあるのが、久保地域です。最後に若い世代の方も参加し楽しんでいたので一緒に大いに楽しむことができ面白かったと感じました。(山口)

【移住者について】

今回、大西地区に移住してこられた4名の方に聞き取り調査を行わせて頂きました。

- ・ある女性 A さんが移住してきたのは、田舎は子どもを育てるのに適しているということが理由だそうです。以前は奈良市内で暮らしていて、祖谷→剣山→物部と移動して初めは黒代に住んでいたということです。当時はガスもなく、常に薪を探しながらの生活で、木やガスなどのエネルギーの大切さを知ったそうです。現在は大西に住んでおられます。
- ・ある女性 B さんが移住してきたのは、3・11の震災に合ったことが理由だそうです。以前は東京の吉祥寺に住んでいたそうで、信頼できる人たちとの小規模で自給自足もできる社会で暮らしたいという願望があったということです。初めは妹さんのいる香北町に身を寄せていましたが、県内各地で移住先を探した結果、物部に辿り着いたそうです。
- ・ある男性 A さんが移住してきたのは、田舎で暮らしたいというのが理由だったそうです。以前はリフォームの仕事をしていましたが、お金儲けを目的とした仕事に違和感を覚えて、過去に香北で農業の研究生として働いていたことを生かして、物部に移住されたそうです。
- ・ある男性 B さんが移住してきたのは、ある男性 A さん宅で居候させてもらっていて、田舎も良いと感じたことが理由だそうです。現在は今住んでいる母屋が広いので、ゲストハウスとして使用できるように準備をしているらしいです。(山崎)